令和元年度　第１学年　「総合的な探究の時間(讃岐学)」　実施計画

日程				活動内容・活動目標		活動単位
４月２４日 （水） ５月　８日 （水）	探究に必要な基礎的スキルの体験・修得	「地方創生」に関する探究	情報科との連携	❶ 讃岐学探究－１（スキルトレーニング） ・香川の課題を通して、探究に必要な基礎的スキルを体験し、１年間の活動の見通しを持つ。 ・「批判的な思考」「問いの生成」を通して、相手の主張や前提を的確に理解するとともに、議論を通して見落としていた視野を再認識することで、健全な批判精神や多面的な思考の重要性を学ぶ。		クラス
５月２４日 （金） 4.5限				探究講演会　（一般社団法人　Glocal Academy 代表理事　岡本尚也　氏） 社会課題に対する関心と深い教養及び問題解決力等の国際的素養を育成し、社会の一員としての責務を自覚するきっかけとする。		1.2年生
６月　５日 （水） ６月１９日 （水） ７月　３日 （水） ７月１７日 （水） ７月１９(金) 終業式前 夏季休業中 ９月１１日 （水） ９月１７日 （火）４限 ９月２７日 （金）4.5限 １０月　２日 （水） １０月２３日 （水） １１月　５日 （火）４限 １１月２０日 （水） １２月　４日 （水） １２月１１日 （水）4.5限				❷　讃岐学探究－２（スキルワーク･エクササイズ） ・香川の地方創生に関するテーマを７分野設定し、探究に必要な知識や技能を身につけ、批判的思考力・論理的思考の組み立てを学ぶ。また、よりよく課題を解決していくための資質や能力を育成する。		分野別
				テーマ設定	・集団でアイデアを出し合うことにより、発想の誘発を促すとともに、協議を通して事物の本質に気づかせ、幅広い視野や思考力を育成する。	
				テーマ プレゼン	・スキルトレーニングで学んだ手法を使って、協働で香川の地方創生に関するテーマを設定し、目的と解決の整合性や効果性、鋭角性や広角性が伴っていることを確認する。	
				探究 探究 ＳＧ発表会 海外研修報告会 探究 探究 探究	・分析する能力や状況に合わせて判断する能力、 自分の主張を論理的に構成する能力を育成する。 ・問いの生成は今後の探究方針に大きく関わることを認識し、班内での協議を通して探究の方向性に共通理解を持つ。 ・３年生のＳＧコースの生徒の英語概要発表や海外研修に参加した生徒の発表を聞き、今後の探究の進め方の一助とする。 ・夏季休業中は、探究過程で必要に応じてフィールドワークを行い、不足するデータを補完したり、分析したりする。 ・生徒の探究活動が自律的に行われるために、自分にとって関わりが深くなっている事、得られた知見を活かして社会に参加しよう姿勢、探究の見通しを持ちつつ協働で進める事を生徒に助言する。 ・「地方創生」を通して、地域や日本の社会課題に関する様々な問いの作成方法を学び、自己の進路を主体的に考えようとする姿勢を育成する。	
				中間報告会	・これまでの探究過程やその成果を報告し、他者の客観的評価に基づき、今後の探究の方向性に見通しを持つ。	
				探究 探究 探究 探究 探究	・中間報告会での評価を基に、探究の見直し及びルーブリック評価表を意識した内容・構成に配慮しながら、引き続き探究を進める。 ・中間報告会での評価を振り返り、分野別発表会に向けて、データの分析、探究方法とその内容等を練り直す。 ・分野別発表会に向けて、ルーブリック評価表に基づいた探究を進める。	
				１年生 分野別発表会	・これまでの探究の成果を発表し、他者の客観的評価に基づき、探究の振り返りを行う	
１月１５日 （水） １月２９日 （水）4.5限 ２月１２日 （水）	探究に必要な基礎的スキルの活用	進路志望や興味関心に応じた探究		❸　課題探究 ・進路志望や興味関心に応じた探究を通して、自己の在り方や生き方と一体的で不可分な課題を発見し、解決していく知識や技能を育成する。 ・２年生で実施する分野別発表会にオブザーバーとして参加し、次年度の活動内容を理解する。 ・外部アドバイザーによる指導助言を通して、探究の進め方を評価するとともに、適切なリサーチの方法、効果的な分析技術を身に付ける。 ・探究テーマを５つの大テーマ群から、自分の進路に関連した大テーマを選択する。 ①文化（文学・思想、教育、芸術）　②社会（法、経済・経営、国際理解・外国語） ③技術（理、工、農）　④いのち（医・歯・薬・獣医、看護、家政・スポーツ） ⑤グローバルイシュー（英語での発表を前提とし、地球的規模の課題を取り扱う） ・探究テーマに「SDGs・17 の目標」を取り入れ、探究過程において、グローバルの視点で課題解決を図ることを意識させる。 ・班内で探究テーマを設定し、探究の進め方や参考資料について、大まかな見通しを持つ。 ・研究計画書を立て活動し、適宜調査内容を持ち寄り、意見交換、探究、考察を継続する。		
				テーマ設定		1.2年生
				２年生 分野別発表会		
				テーマ ブレゼン		分野別